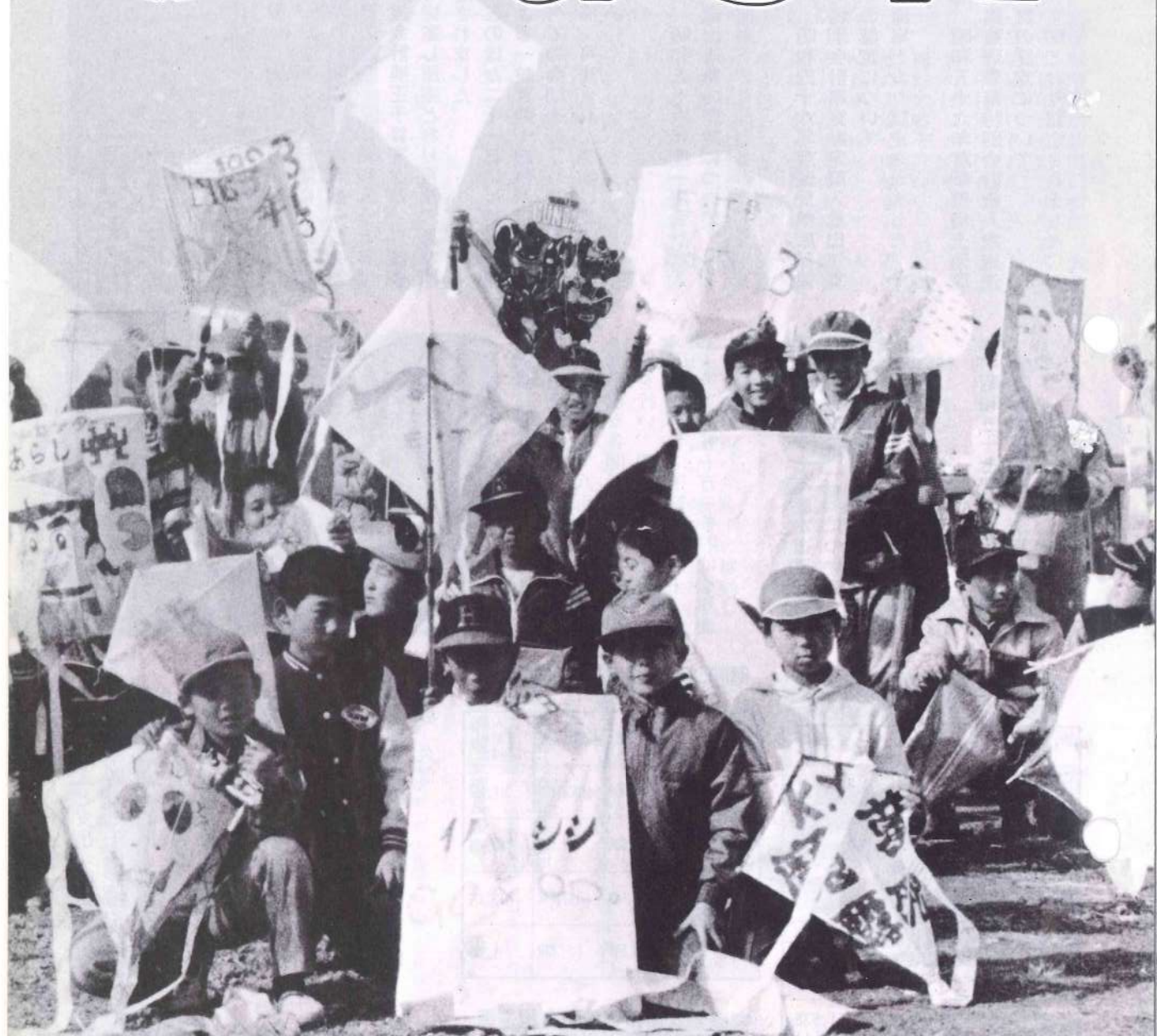




# 広報みまた



## 子どもの夢を大きく

日本古来の伝統的な「たこ」を作り、そして揚げることにより、子ども達の社会性、創造性を養い、大きく育てようと、新春たこ揚げ大会は1月15日広域農道(沖水川堤防)で行われ親子約150名が参加し賑わいました。

写真は町教委、町子育連主催による「たこ揚げ大会」

58 / 2月号



# 十二月定例議会 一般会計補正予算案など九議案を可決

昭和五十七年度第九回町議会定例会は、去る十二月十一日から二十一日までの十二日間に行われ、開かれ、昭和五十六年度一般会計決算の認定、及び昭和五十七年度一般会計補正予算案など、九議案を提案し原案どおり可決、及び認定された。

このほか二十一日には議員十名による一般質問十四件が行われ、すべての会期を終了しました。尚、可決された議案は次のとおりです。

- (一)、昭和五十六年度一般会計歳入歳出決算の認定について
- (二)、昭和五十六年度国民健康保険特別会計事業勘定歳入歳出決算の認定について
- (三)、昭和五十六年度新馬場土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- (四)、昭和五十六年度普通養育事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- (五)、昭和五十七年度一般会計補正予算(第三号)について
- (六)、昭和五十七年度水道事業会計補正予算(第一号)について
- (七)、昭和五十七年度国民健康保険病院事業会計補正予算(第一号)について

## きびきびした動作で放水を披露 消防出初式



点検を受ける団員

新春恒例の消防出初式は、去る一月十四日午前八時三十分から三股小運動場で行われました。

中村消防団長以下百五十名の団員が自動車ポンプを列ねて勢ぞろいし、消防団旗の入場で開始され、桑畑町長を点検長として、本部から七部までの人員、服装、規程、機械器具について点検が行われました。どの部もきびきびした正しい動作や機具の手入れもよく整とんされ、日頃訓練の厳しさがしのばれました。

その後、都城自衛隊のラッパ隊を先頭に各部と小型ポンプ車、積載車などが五本松児童公園までの約一キロを分列行進を行い、町民に「火災から尊い生命と貴重な財貨を守ろう」と訴えられました。



団員の一斉放水

また、五本松児童公園では大勢の町民が見守るなかで、七部までの小型ポンプ車、積載車による一斉放水や本部のポンプ車、補給車による実演しながらの、きびきびした動作で放水を披露し、観衆のかっさいをおびました。

特に都城南消防署と当町本部団員との連携プレーによる、自動車事故火災発生を想定しての救助訓練では自動車の屋根をカッターで切断して救出するスピーディな動作に見物客から盛んな拍手がわきおこりました。

この後、再び三股小に移動し、講評や町長訓示、優良団員や団体表彰が行われ、午後一時前に終了しました。

- 尚、出初式の成績は次のとおり
- 一位 第二部、二位 第一部、三位 第六部
- 優良団員及び団体表彰者は次のとおり
- ◎都城支部長表彰  
第一部 高橋夫、第四部 馬場猛、第七部 佐藤勇
  - ◎消防協会長表彰  
第一部 野崎隆雄、第二部 山元博文、第七部 大重和孝
  - ◎町長表彰  
本部 原田 潤、第一部 上村邦雄、第二部 堀内重幸、第三部 園分房、第四部 鈴木治明、第五部 坂口昭一、第六部 原口隆志、第七部 田中和男
  - ◎団長表彰  
本部 永山正廣、第一部 本村隆雄、第二部 西原彦、第三部 盛田 光、第四部 吉見孝敏、第五部 野田俊一、第六部 川上 満、第七部 東 登治
  - ◎農業共済組合長表彰  
本部 代表 大久保義典、部員 中原 勉、第六部 代表 野口英治



自動車事故救助訓練

**春の全国火災予防運動**  
二月二十八日～三月十三日まで

春先は、空気が非常に乾燥し、暖房器具を使う時季でもあり、季節風が強いことから火災が発生するど大火に迎いかねません。

この時季を迎えるにあたって、私たち一人ひとりが火災発生を防止し、悲惨な焼死事故や貴重な財産の損失を防止するために十分注意しましょう。

**消火栓前の駐車はやめよう**

消防団では、一秒でも早く、適切な消火活動や救助活動ができるよう常に、消防車の整備、団員の訓練、消火栓や防火水槽などの点検を行っています。

しかし、「いざ火災」となったときに、もし、あなたの車が、消火栓や防火水槽の前、あるいは狭い道路に駐車されていたら、どんなに優れた団員や消防車であっても、消火水利施設から放水できなくなったり、火災現場への到着が遅れたりします。そのようになると、適切な消火活動や救助活動ができず、尊い人命や貴重な財産が危険にさらされてしまいます。

駐車する場合は、もう一度、「水利施設」や「狭い道路」ではないかを確かめましょう。

## 昭和56年度各会計別決算状況

会計名	歳入歳出(単位:千円)		
	歳入額	歳出額	歳入差引繰越額
一般会計	4,225,838	4,008,436	217,402
国民健康保険会計	698,538	647,610	50,928
特別会計 野馬場地区 土地整理 基金 養殖事業 会計	231,159	147,782	83,377
	1,518	210	1,308

## 町税の決算状況

税目	予算額	歳入額
町民税	254,815	263,087
固定資産税	231,999	233,080
たばこ消費税	54,550	55,771
電気税	32,000	32,172
軽自動車税	14,161	14,179
特別土地保有税	3,705	3,705
木材引取税	1,401	1,538
都市計画税	21,487	21,592
ガス税	1	0
入湯税	1	0
合計	614,120	625,124

昭和57年3月31日  
現在人口 18,011人 世帯 5,714戸  
町民1人当たり 14,607円  
町民税1世帯当たり 46,043円

## 家庭奉仕員派遣費用負担基準 (所得税課税世帯のみ)

区分	金額 1人1時間当たり
生計を中心とする者の 前年所得税課税年額が 3万円未満の世帯	290円
生計を中心とする者の 前年所得税課税年額が 3万円以上の世帯	580円

この手数料は、2月1日から実施されます。  
中込みお問い合わせは役場福祉生活課又は民生委員まで 電話 2-1111(内線40)

(九)町家庭奉仕員派遣手数料徴収  
条例の制定

老人、身体障害者又は心身障害児の日常生活の世話を十分に行うことができない家庭で、所得税課税世帯に対してても有料で家庭奉仕員を派遣できるように変更されました。

尚、手数料は次のとおりです。



# 成人おめでとう 覚悟も新たに二百四十九名



二十歳の門出をお祝いする成人式は一月五日午前十時から町社会体育館で盛大に挙行されました。今年の成人者は二百四十九名（男百二十六名、女百二十三名）で、詰め掛けた若人は、男子はほとんど背広姿、女子は暗れ着姿で会場は華やかなふん開気につつまれていました。

式は、成人証書と記念樹が成人者を代表とする山内武君に授与された後、桑畑町長が「皆さん方はこの日を期して一人前の社会人と

なられたのでありますが、過去二十歳の時代の推移がいかによまぐるしいか、また、科学や文化が急速に向上しつつあるかを体得されたことと思います。しかし今では我が国をとりまく諸情勢は深刻な問題もかかえております。

皆さんがたは貴重な権利と義務が与えられた社会に対して責任の行動が期待されます。これから時代の推移と身辺に目を注がれ、より一層教養と英知を涵養され、将来の我が国を担う立派な社会人となつて下さい」と励ましのことばを贈りました。

つづいて山内議会議長や黒木運営委員長、中西青年連協長からお祝いが述べられた後、それに応えて成人者を代表して、堀内ひとみさん（谷）が「私どもの二十歳の門出に盛大な成人式を挙行していただき感謝にたえません。各位からの数々のおことばをしっかりと胸にきざみ知性と教養を身につけよき社会人として国家社会の発展のために努力します」と決意を述べました。

式典終了後は成人者の主張発表が行われ、谷山知栄子さん（仮屋）が「二十歳」なつて責任の重要性和



20歳の主張発表する谷山さん



決意を述べる堀内さん

これまで育ててくれた親への感謝、先輩へのお礼、またこれからあらゆる活動に参加し、多くの友達との出会い、語り合いを大切にしたい」と発表し、終りに「自からの目標に向かって悔いのない人生を歩いて行きたい」と述べ、参列者から盛んな拍手を受けました。

その後は記念撮影や久しぶりに顔を合わせる友人たちとの話しに花を咲かせる和やかな光景でした。

明るく正しい選挙は  
私たち一人ひとりの  
心がけから

県議選挙投票日四月十日  
町議選挙投票日四月二十四日

今年には選挙の年といわれています。きれいな選挙は民主政治の基礎をつくります。民主政治の健全な発展のためには、明るく正しい選挙が行われなければなりません。従つて、政治は私たち一人ひとりが主権者として、与えられた権利を放棄することのないよう、一票の重みを真剣に考え、私たちみんなの代表に投じたいものです。明るく正しい選挙はみんなの願いです。法律では、選挙に金がかからないように、また政治や選挙が金品で汚されないように、寄付をしたり、求めたりすることを禁止しています。



（転作について活発に意見交換された農振対策協議会）

## 58年本町の転作目標面積230.7% ＝水田利用再編対策＝

農業基本法は昭和三十六年に制定されて以来、我が国の農業は米づくりを中心に進んできました。

しかし、技術改良による増産、一方ではパン等の普及で消費が減少し、米の過剰対策が必要となり、昭和四十五年から米の生産調整が行われております。

本町の昨年の転作目標面積は二四七・三％で実績では二九九・四％と目標を上回り一一・一％にもなっています。また、昨年は産米作物が各地の風水害、天候不順等により全国的にやや不良となり、産米の持越在庫が減少する見込みとなりまし

た。そのため在庫増しを必要とするため、五十八年は転作目標面積二〇・七％と昨年より一六・六％緩和されました。

町農業振興対策協議会では、これらの取扱いについて、去る十二月十六日老人福祉センターで協議し、本年の目標面積を各戸配分すると共に、昭和五十六年から三ヶ年計画で実施されていく集団転作を継続することに決まりましたのでご協力をお願いいたします。

機種名	購入数	最大の備	備後料	一戸別
溝掘機	二台	二〇〇	一〇	二五〇
田舎				



溝掘状況

## 昭和五十四年の死因別 死亡数の統計によると、第一位は、脳血管疾患で、悪性新生物、心疾患がこれに続いています。高血圧性疾患による死亡は第九位であります。

## 危険因子としての高血圧 市郡医師会

て、六倍の頻度で脳卒中により死亡しています。脳卒中の病型では、脳出血死二十倍、脳梗塞死が四倍の割合で、高血圧群に多くみられています。

(一)、高血圧と心臓  
虚血性心疾患の三大危険因子として高血圧、高コレステロール血症、喫煙があげられています。

高血圧の長期持続は、高コレステロール血症と相まって冠動脈硬化を伴うことが多く、虚血性心疾患、うつ血性心不全の原因となります。

(二)、高血圧と腎臓  
高血圧症のなかには少数であります。拡張期圧（最低血圧）が著明に上昇し腎機能の急激な悪化を認める一群があり、悪性高血圧と呼ばれています。

尚、機械の利用申込みは農協三股支所（農産課）までご連絡下さい。電話二一一二二

昭和五十七年度田麦生産団地育成事業では、田麦の生産向上と作業の省力化、合理化を図る目的により農作業機械（畦周りの排水溝作り）を購入しましたのでご利用下さい。

## 健康教室





# 町の話題



**叙勲勳四等瑞宝章受賞を称え祝賀会**  
 三股町出身(上米)中西正一氏(70歳)  
 本町出身の中西正一氏は、昨年、秋の叙勲で勳四等瑞宝章(税務功労)を受賞されました。  
 氏は昭和21年2月から宮崎、都城ほか九州管内の税務署、東京国税局など税務行政に40年余にわたり、高度な見識と卓越した手腕を発揮され、昭和41年7月足立税務署長を最後に退官。その後、神奈川県横浜市で税理士として活躍されております。また叙勲祝賀会は親族、知人など約80名が参加され来ある氏の受賞を讃えました。  
 今回の受賞を町民の皆さんと共に心からお祝い申し上げ、氏の今後のご健康とご活躍をお祈りいたします。



**農機具の安全な操作技術を研修**  
 町農作業安全推進協議会では、去る12月3日農機具の安全な操作技術についての競技会を開催しました。  
 最近、農業機械の大型化、高性能化に伴い農機具等による事故が多発しています。このため機械への知識と正しい操作技術により事故防止と作業の能率を高める目的で開催された競技会は、農協三股支所で機械の作動研修の後、各地区の代表14名で競技が繰り広げられ、操作技術の向上を図りました。

**子どもの交通安全で安全を図る**  
 第8地区の交通安全会と母親クラブでは、去る12月24日東原児童館で約1時間、子どもの交通安全教室を開催しました。  
 最近、子どもの交通事故が多発するなか、又、休みに入ると子ども達は解放感からせっかく身についた正しい交通ルールや安全な動作を忘れがちになるために開催したもので、講師には派出所の警察官と都城警察署から婦人交通指導員2名が腹話術と紙芝居で横断の仕方、標式の見方などを講義し、参加した約150名の子ども達は熱心に見入っていました。

**寒風について19チームが力走 町青年駅伝大会**  
 町青年駅伝大会は、12月5日町内を1周する32.6km 8区間(うち2区間は女)に青年の部8チームとオープンの部11チームが参加し、華やかな熱戦を展開しました。  
 役場前を10時にスタート、各選手たちの懸命な力走に沿道では大勢の人々が盛大な声援をおくっていました。尚、成績は次のとおりでした。  
 1位 2位 3位  
 青年の部 7地区 宮村 上米  
 オープンの部 新生会C 梶山青年OB 新生会A



より明るく住みよい町づくりを目指して、新春懇談会町では、恒例の新春懇談会を、去る1月8日午前9時30分から老人福祉センターで開きました。  
 新春を迎え、町民の対話と協調を基調として、明るく住みよい町づくりのため聞いたもので、桑畑町長は「国内外の諸情勢は益々厳しい状況にありますが、町民の皆様方のご理解とご協力を賜り、明るく町づくりに努力したい」と挨拶されました。その後、元鹿児島県立図書館長の新納教義氏による「行政と住民参加」のテーマで講演が行われ、参加者はメモを取りながら熱心に聞き入っていました。

**宮日農業技術賞に輝く**  
 上米麦作営農集団(代表下西政則さんら73戸)  
 上水漸さん(36歳)中米  
 宮崎日日新聞社が贈る昭和57年度農業技術賞は、去る1月21日表彰式が行われ、本町から上米麦作営農集団と上水漸さんが受賞されました。  
 上米麦作営農集団は、昭和49年から麦作の集団と機械一貫作業体系による省力化や栽培技術改良による増収の成果を高く評価され表彰されたものです。  
 上水漸さんは、茶生産向上を目指しスプリンクラーの多目的利用技術(防霜、防除、施肥など)を取り入れ省力化を図り良質茶の生産安定に努められていることを高く評価され表彰されました。



**葉たばこを出荷、平年以上の収量**  
 本町の葉たばこは、去る12月9日から都城市都北町の葉たばこ取扱所に出荷されました。  
 現在本町には63戸が45.1ha(1戸平均7158㎡)の葉たばこを栽培しております。今年の葉たばこは作付後、霜害によって成育が悪化されましたが、その後天候に恵まれ作柄もよく、平年以上の収量となったようです。又、出荷は生産者が選別し袋詰めしたものを鑑定官が等級別に厳しく審査されていました。

**人権を尊重して豊かな人間関係を-----呼びかけ**  
 12月4日から1週間「人権週間」が行われ、この週間にちなんで人権擁護委員により12月6日、町内3ヶ所(三共前、駅前、新馬場)でチラシを配布し、人権を尊重して豊かな人間関係をつくりましょう、と呼びかけました。  
 最近、社会情勢の変化に伴い人権にまつわる様々なトラブルは、家庭生活に深刻な影響を与えています。私たちはお互いに相手の立場を考慮し豊かな社会をつくりましょう。



## おしらせ



### 図書館だより

#### ◎開館時間の変更について

三月一日から十月三十一日まで開館時間が次のように変わります。ご協力をお願いします。  
開館時間、午前九時から午後五時三十分まで

#### ◎図書のお贈りについて

さき程次の方々から貴重な図書のご寄贈がありました。  
誠にありがとうございます。  
高橋秀明さん(塚原住宅)  
大石三世子さん(旧姓、林)林文庫に(一万円)

### 税だより

#### ◆正しい所得税の

#### 確定申告をお早めに

昭和五十七年分所得税の確定申告と納税の受付は、二月十六日から始まります。この申告と納税の期限は三月十五日までとなっておりますが、期限間近になりますと、税務署の窓口が大変混雑し、落ち

着いて相談ができなかったり、長い時間待たせていただくようなことにもなります。

申告書は正しく記載して早めに提出しましょう。そして納税も期限内に済ませましょう。

また、決算や申告書の作成を税理士に依頼される場合は、正規の税理士にご相談ください。

#### ◆青色申告のお勧め

二月十六日から三月十五日までは所得税の確定申告の時期です。ところで、「青色申告制度」をご存じですか。

事業所得、不動産所得、山林所得のある方が、毎日の取引をきちんと帳簿に付け、その記録に基づいて正確に所得や税額を申告する方法で、税金の面でいろいろ有利な特典が受けられるという制度です。また、帳簿を正しく付けることによって、節税だけでなく、経営の合理化、対外的な信用にも役立ちます。

これから青色申告を始められる方は、三月十五日までに「青色申告承認申請書」を税務署に提出してください。

詳しくは最寄りの税務署か税務相談室にお尋ねください。  
都城税務署

電話〇九八六一二一四三七七

### 町営住宅入居者募集

- 住宅の概要
- ① 団地名 南原団地(釜池)
  - ② 構造 鉄筋コンクリート3階建
  - ③ 種別等 1種、12戸
  - ④ 家賃 26,000円~27,000円
  - ⑤ 敷金 家賃の3ヶ月分
  - ⑥ 部屋数 1居室の2室 洋室の2室
- 台所、浴室、便所
- ※入居予定月 昭和58年4月1日  
入居申込手続 役場建設課まで  
お問い合わせ 電話 2-1111(内線43)

### 一般寄付

中西本二さん 三万円  
本町出身(上米)の中西正一氏が勲四等瑞宝章を受賞され、祝賀会記念として寄付されました。ありがとうございます。

町青年連協(会長中西浩二)では去る十二月十九日ダンスパーティーを開催し、益金の一部二万二千五百円を寄付されました。ありがとうございます。

## 2月の納税 固定資産税 第4期分

2月、3月は税の  
申告月となっております

### 愛のこ寄付

昭和五十七年十一月一日から  
昭和五十八年一月三十一日まで

寄付者 続柄	故人名	地区	金額
別府 スマ(夫) 籍	二 耕原	三 万円	
大村 真義姉(横山春枝)	山王原	一 万円	
坂元 春美(父) 隆	吉植木	三 万円	
戸部 福実(母) セ	ミツノ森	三 万円	
馬渡 正秋(母) シ	クサキ	三 万円	
鍋倉 重春(母) ワ	サ 櫻山	三 万円	
児玉 ヤエ(夫) 武	男 大野	二 万円	
蔵元 征男(父) 早	市 中米	二 万円	
渡良和シヅ(夫) 武	松 三原	一 万円	
児玉 正秋義母(母) ミ	キ 釜池	一 万円	
北村孝之助(母) ミ	イ 上米	二 万円	
下村スミエ(母) ル	ミ 谷	二 万円	
西村 オ(養母) キ	夫 田上	二 万円	
大村 幸枝(夫) 保	夫 田上	二 万円	
高畑ケサオ(夫) 正	雄 高畑	一 万五千円	
橋本アヤ子(夫) 久	山 王原	五 万円	
徳田 国貴(母) イ	エ 餅原	三 万円	
西村 和江(夫) 利	秋 藤田	三 万円	

### 三股町の人口

昭和58年2月1日現在

人口18,370人 出生19人  
男 8,726人 死亡20人  
女 9,644人 転入100人  
転出36人  
世帯数 5,648戸  
前月比+63人